

来夏の参院選に山崎正昭氏出馬要請を主導

新人の若輩者に選挙を混乱させることはできないと、福井市議会「一真会」が山崎氏の出馬要請に動いた。この結束力をもって2カ月後に迫る衆院選で稲田朋美氏に「福井のために働き！」と強く要請する構えだ。

衆院選の布石を打つ

福井市会最大会派「一真会」山崎御大当選の旗振り役に

嶺北市会をまとめ出馬要請

山崎氏、外堀を埋め万全の構え

菅政権の下、わずか2カ月後には衆議院議員選挙が行われ、福井1区に稲田朋美氏(自民)、野田富久氏(立憲)、金元幸枝氏(共産)、2区に高木毅氏(自民)、齊木武志氏(立憲)、北陸信越ブロック比例代表に山本拓氏(自民)の出馬が確実に視される中、来年の事を言えば鬼が笑うと言うが、何故か

来夏の参院選の公認候補選びが先に話題となっている。昨年からの参院選出馬に意欲を示す山浦光一郎県議が水面下で動きを見せていたため、1月上旬、福井市会の見谷喜代三、堀江廣海、皆川信正、今村辰和、青木幹雄市議が山崎正昭氏を開花亭に招き、出馬の意向を尋ね確認するや、

動きは早かった。見谷市議が嶺北5市の保守系会派を廻り、「新人の若輩者や一部の国会議員、県議に選挙を混乱させることはできない。早々に、この芽を摘む必要がある」と、山崎氏の出馬要請を呼び掛けた。1月26日、織協ビル会議室に福井、坂井、あわら、勝山、大野、鯖江の6市会から28議員が集まり、見谷市議が「福井のために山崎氏の政治手腕が必要不可欠」と、あいさつ。

6市会の有志70人が署名した要請書を当時の一真会会長、八田一以福井市議が山崎氏に手渡した。翌日、来夏参院選「保守分裂の可能性も」の新聞報道に、「話しにならない」と一真会は憤慨した。この報道を見た越前市の保守系市議から見谷市議に連絡があり、要請書に署名。さらに、4月に入ると、県内16市町長でつくる「創生福井 首長の会」が山崎氏の推薦を決めた。